



DOKKYO UNIVERSITY

獨協大学 ICZ (International Communication Zone)

天野貞祐記念館3・4階

TEL: 048-946-2873 / e-mail: icz4@ml.dokkyo.ac.jp

https://www.dokkyo.ac.jp/research/support_center/language/icz.html



“
外へ、そして未来へ。
『語学の獨協』だから叶う、
地球市民としての学びを踏み出す
”

獨協大学 学長
前沢 浩子



『語学の獨協』と言われていますが、語学とは、言語に限定した学問ではありません。英語やドイツ語などの言葉を使って、外国にはどんな人たちがいて、どんな文化がありどんな国があるのか、また国と国の関係や課題などについて考える学問です。そういった広い視野をもち、理解と知識を兼ね備えた学生を育てる、それが現在の『語学の獨協』が目指すところです。大切なのは言葉そのものではなく、言葉を使って何をするのか。言葉を学ぶ先には広い社会があり、世界があり、未来がある。語学とは、その先に向かうために欠かせない力です。

『語学の獨協』が、カリキュラム外の学びの場として用意しているのがICZ (International Communication Zone) です。ここは学部や学年を超えて、日本人、留学生、外国人学生らが、気軽に交流

できる場です。同時に、さまざまな語学の学習機会が設けられています。たとえば「チャットルーム」では、ドイツ語・英語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語の6言語での少人数制会話レッスンを無料で行っています。「マンツーマンオンライン英会話」では、その名の通り1対1で無料の英会話のレッスンが受けられます。そのほかにも講座や試験の情報が豊富です。また留学生や同じ志を持つ仲間との交流機会となるグローバルイベントを開催しています。

Global Citizen (地球市民) という言葉がありますが、『語学の獨協』の学生には、自分も地球に住む1人の市民なのだという意識がもてる人に成長してほしいと考えています。地球市民という意識をもつと、地球環境や人権問題も、他人事ではなくなります。もちろん異文化理

解について授業で習うことは重要です。ですが私は、たった1人でも違う文化の友人ができれば、十分な国際人だと思います。すべての学生が海外留学に行けるわけではありません。だからこそ、ICZを利用して、自分と違う背景をもった人間を知る機会にしてみたいのです。

私は学生の皆さんに、外の世界と未来に目を向けてほしいと考えています。自分の世界にこもるのではなく、社会全体がどこへ向かおうとしているのか、世界では何が起きているのかを常に意識してほしい。同時に子供の世代はどうなるのか、100年後の地球環境はどうなるのかなど、未来にも思いが馳せられる人になってほしい。そのために身につけておくべきモノ・コトが、ICZには揃っています。この先、何十年も生きていくための豊かな土壌を、ぜひとも今、育んでください。



ICZとは？

ICZ(International Communication Zone)は、天野貞祐記念館3・4階にある、所属や学年、国籍、年齢関係なくだれもが外国語や外国の文化に触れ、交流することのできるコミュニケーションスペースです。外国人留学生も多く利用するため、キャンパスにしながら異文化交流ができます。

その他、イベントや講座に参加したり、各種資料を使った自習・グループワークをしたりと様々な方法で利用することができます。

・ICZでできること	 チャットルーム ※詳細は下記「PICK UP」参照	 検定試験対策や語学講座の実施 (主に独・英・仏語)
 各種検定試験の受験料割引申請 (指定条件あり) ※詳細は本学HPから確認	 ボードゲームや海外雑誌などを使用した外国語学習	 学生ピアサポーターなどによる外国語学習相談

PICK-UP

・チャットルーム

チャットルームとは、学部・学科問わず、本学の学生ならだれでも無料で参加できる少人数制の会話レッスンのことです。ドイツ語、英語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の計6言語で行われています。ネイティブスピーカーの講師と日常会話を練習することができ、授業外での外国語の学びに役立ちます。

たとえばこんな時にもICZ！

長期で英語圏留学に行きたい	→ ・IELTS™対策講座を受講 ・IELTS™を特別料金で受験 ・マンツーマンオンライン英会話で会話練習
就職活動のための英語学習をしたい	→ ・学生ピアサポーターなどに相談 ・TOEIC®対策講座や講演会に参加 ・TOEIC®を本学学生特別料金で受験
語学は好きだけど自信がない	→ ・チャットルームやイベントに参加 ・ICZ各ルームの教材(現地雑誌や海外DVD、マンガなど)を利用

詳しくはこちらから



獨協大学(ICZ)ホームページ



Global Frontier Instagram
@DOKKYO_GLOBAL

その他の詳細や開室時間等については獨協大学HPをご確認ください。Instagramから各イベントの様子も確認できます。

CROSS × TALK

友だちの輪が世界中に。 言語を学ぶ、その先を 体感できる場がここにある

二 瓶 僕は法学部総合政策学科3年生なのですが、チャットルーム利用を目的にICZに通い出したのは2年生になった時です。そこでプリティとは知り合ったんだよね。

モンドル そうそう、チャットルームで友だちになった。

二 瓶 留学生かと思ったら、違った(笑)。

モンドル 私はバングラディシュから7年前に日本に来た経済学部
の2年生で、学部生としてICZを利用しています。

二 瓶 僕はチャットルームでは、最初は英語を、今はスペイン語
を加えた2か国語を勉強しています。スペイン語はまだまだで自
己紹介レベルしかできませんが、楽しく参加できています。

モンドル 私は入学した時に大学の案内でチャットルームについ
て知り、無料だし少人数だし、とりあえず行ってみようと思い
ました。1年生の最初のタイミングから参加しています。

二 瓶 チャットルームは1セッション45分なのですが、先生によっ



てスタイルは違うんです。私たちがよく行く英語のクラスは、参加
者同士の1対1の自己紹介から始めて、10分経ったら次の人へ交
代するシステム。なので、たくさんの人とおしゃべりができます。

モンドル 最初から最後までディスカッションするクラスもありま
す。テーマがあって、がっちり45分議論する。複数のクラスから、自
分のレベルに合ったものを選ぶようになっています。チャット
ルームの参加は無料なんですよ。使い倒さないともったいない！

ICZでの出会いは、
間違いなく学生時代の思い出になる！

二 瓶 僕にとってICZは、学内の休憩所みたいなものです。ここ

で課題をこなしたり、語学の勉強をしたり、友だちとおしゃべり
をしたり、新たな留学生と仲良くなったり。本当に気楽に通って
います。お金がかからないサークルみたいなものです。

モンドル 皆が言語を勉強してる。モチベーションが高く、目的が
同じ仲間がここにはいるんです。会話も「じゃあ今から英語オン
リーね！」みたいな、そういう感じでやったりとか。

二 瓶 友だちを作りに来たわけではなくても、ここでは、自然に
友だちの輪が広がります。しかも世界中に！

モンドル ICZで1番の目的は、なんといってもチャットルームで
す。本当に楽しくて。自分の学生時代の、いちばんの思い出にな
ると思う。イベントがたくさんあるので、留学生の友だちでもでき
ますね。

二 瓶 僕も同じです。先生がすごくフランクでフレンドリーで、
ひとりひとりの名前を覚えて話しかけてくれて。もう毎回、本当
に話すことが楽しくて。チャットルームの時間は固定されている
ので、チャットルームありきで、履修計画を考えるくらい。

モンドル ICZの交流イベントへ初めて参加した時に、留学生の
子と仲良くなったんです。もうスイスとドイツへそれぞれ帰国し
ていますが、今もSNSでしっかりつながっています。

二 瓶 最初だけ勇気を持って飛び込んでしまえば、あとはふ
らっと立ち寄って、留学生とも簡単に友だちになれるよね。

モンドル そうそう。イベントに参加さえすれば、あとは強制的に
話さないといけなくなって、気がついたらこの場になじんでい
る感じ。それからチャットルームの申し込みをして参加さえす
れば、あっという間に、きつとなんとかなっちゃうと思います。
大丈夫！



思い切って、一度行ってみる！
それが学生生活を充実させる一歩になる

二 瓶 僕は語学が本当に好きで、語学を学ぶモチベーション
は、好奇心だと考えています。語学を色々身につけた上で、他の
スキルも身につけて、海外の人と関わりながら生活や仕事をす
るのが夢なんです。

モンドル 私は国際的な仕事をしたいので、世界の共通言語であ
る英語は身につけないと話にならないということがあり、まずは
英語を勉強しています。あとは人と話すのが大好きなので、言語
の壁があるから仲良くなれないのは嫌だなと思って。

二 瓶 僕にはICZでの目標が3つあります。まず、今6か国語を
勉強しているんですが、それをこの先も続けていくこと。日本語
のほか英語、スペイン語、ドイツ語、韓国語、中国語ですね。次に、
言語は話せるだけでは個人的には意味がないと思うので、仕事
で活かせるレベルまで高めること。そして、最後の1年間でICZ
の全部の言語のチャットルームに出席すること！

モンドル 私は留学生と学部生の交流イベントを企画中です。ま
ずは新入生向けのものを。やはり最初が大事ですから、絶対に
怖いところじゃないよ、みんなぜひぜひ気軽に来て！と。

二 瓶 世界では、日本語を話せる人はものすごく少ないですよ
ね。英語を話せるというだけで、人と人の輪が広がります。ICZ
は外国語学部や国際教養学部の学生は普通にいますが、法学部
や経済学部の学生はほとんどいないんです。すごくもったいな
いと思います。

モンドル 思い切って、とにかく一度行ってみる。あるいはチャ
ットルームの予約を入れる。それだけで学生生活がすごく充実に
ますよ。

二 瓶 ICZには、留学生が普通に座っています。彼、彼女たちも
僕らと交流したいと思ってそこにいるんです。だから思い切って
話しかければ、皆フレンドリーに対応してくれます。僕はそれで何
人も、海外に友だちができました。

モンドル 最初はドキドキするかもしれませんが、覚えるフレーズ
は2つだけ。『Hi! Are you free now? Where are you
from?』私たち2人は日本語で大丈夫。見かけたらぜひ声をか
けてください！



経済学部 経営学科2年
モンドル プリティさん

法学部 総合政策学科3年
二瓶 翔太朗さん



ICZは語学を通じて 夢を叶える きっかけになる場所

外国語学部 ドイツ語学科4年
窪田 和輝さん

せっかく獨協大学に入学したのだから ドイツ語をやってみよう

高校受験の時にせっかく獨協大学を受験するならドイツ語をやってみようと思い、ドイツ語学科に進学しました。アルファベットもわからないところからの勉強でしたが、積極的に外国語に触れ合う機会を作り、1年後にはドイツ語学科既習クラスの選考に合格しました。

授業以外でも外国語に触れ合える ICZを活用

ICZは、ネイティブの先生と自由に話せるチャットルームがあったり、外国語のマンガがいっぱいあったりという魅力的です。ICZは授業や単位とは関係ないので失敗をあまり恐れず、自分のペースで国際交流や外国語運用能力を向上できる場だと思います。

ゲート・インスティテュート ドイツ語講座を受講

2年生の時にゲート・インスティテュートドイツ語講座を受講しました。講師が明るい人で自分たちのレベルに合わせて教えてくれます。受講する人も検定合格に向けて努力し

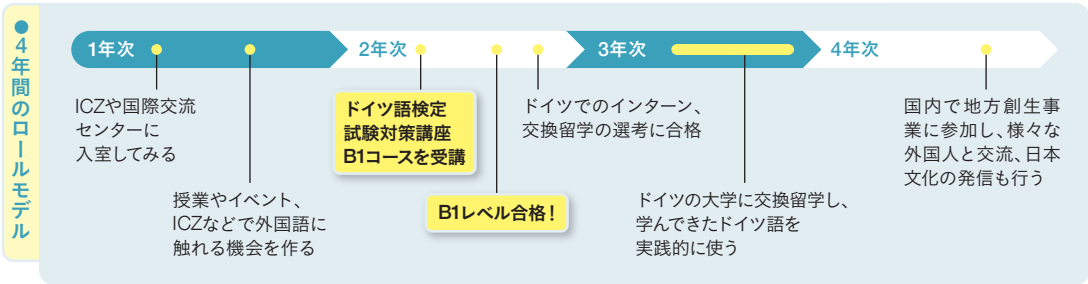
ている人たちなので協力して試験勉強できたのもよかったです。その後、ICZを通じて割引価格でB1試験を受け合格し、留学の選考にも受けました。

ドイツ留学へ

留学に行く前は初めての海外渡航が長期留学で不安でしたが、これまで勉強してきたドイツ語を使って現地の方とコミュニケーションを図り生活ができたのは嬉しかったですし、それが今の自分の自信につながっていると思います。



これまで独検準1級、ゲート試験B1、B2に合格。C1は一部のモジュールに合格し、現在はTOEICのスコアアップを目指し日々勉強中と話す窪田さん



留学後もICZで語学を学びながら モチベーションアップ

もともと英語が好きで、もっとたくさん会話がしたいと思い、2年生の2月にオーストラリアの大学に短期留学しました。帰国後は、さらに語学力を磨くためにICZのチャットルームに参加し、語学を学び続けるモチベーションの維持につながっています。

ICZで留学生の友人がたくさんできた

ICZを利用し始めてから、留学生との交流が増え、チャットルーム終了後にご飯を食べに行ったり、休日に一緒に出かけたりしています。ICZではイベントも開催していて、毎回チャットルームに来ている学生や留学生だけでなく、普段参加していない留学生との出会いがあります。企画して下さるイベントもグループで楽しめる内容となっているため、交流を深めるのに最適だと感じています。

TOEIC® 440点から770点にアップ

実は入学時のTOEIC®スコアは、440点でした。ショックでした。そこからTOEIC®公式の過去問を解いて問題形式に慣れるようにしたり、英単語を覚えたりして勉強しま

した。その甲斐あって1年後には735点を取得、直近で受験した時は770点でした。直近の時は特に何かしたわけではなくチャットルームなどに行き、積極的に話すことで自然とリスニング力が上がったと考えています。

将来は海外旅行の企画に携わりたい

これからもチャットルームに通い続けて英語学習を探索していきたいです。将来はこれまでの経験を踏まえ旅行業界への就職を目指しており、海外旅行の企画に携わりたいと考えています。



チャットルームに行くたびにポキャブラリーや知識が身につけて成長が実感できてとても楽しいと話す三島さん



ICZは語学力が磨けて たくさんの友達に 会える場所

外国語学部 交流文化学科3年
三島 大季さん

